

## “鎌人ごみ0運動”へのご協力のお願い

鎌人いち場は、環境に配慮しゴミを出さないイベント開催に取り組んでいます。飲食で発生する食器のごみをゼロにする取り組みもその一環です。食器一覧をご覧ください。出店者は**繰り返し使える食器**をご用意下さい。また、持ち帰り用の販売はできません。当日の会場で食器を洗浄することはできません。ご用意できない出店者は、鎌人いち場で取りまとめをしている食器を google フォームへのご回答でお申込みをしてください。鎌人ごみ0運動へのご協力を、よろしくお願い致します。

### — 記 —

#### 1. 食器一覧

○使える食器 (繰り返し使えるもの)	△やむを得ないもの (食器を必要としない食事)	×使えない食器 (使用後ごみになってしまう食器)
リユース食器、陶器、ガラス etc. 裏面の一覧にある食器	ハンバーガーの紙、焼き鳥の串 ケーキの型や包み紙 etc.	紙、プラスチックの使い捨て容器 トウモロコシ、葦でできた容器 プラスチックのストローetc.

※その他、不明な点は、実行委員食べる場担当にお尋ねください。十分に理解し、対応をお願いします。

※△やむを得ないものを使用する出店者は、串、紙などは自店で回収を徹底して下さい。

趣旨にご賛同頂けない場合は実行委員会の判断により、当日、出店を見合わせて頂く場合もありますので、ご了承ください。

#### 2. リユース食器、和器申し込みのかたの当日の運用

- ① 当日の朝、回収ブースにて申し込みの食器を受け渡し
- ② 食事代金に150円(レンタル代+デポジット金) 上乗せして販売してください。  
My 食器持参の方には、**食事代金のみで販売**してください。(食器を持参すると150円安くなります。)
- ③ イベント終了後、余った食器の返却、使った分の食器の費用を清算します。  
※リユース食器も和器もパッケージを開封したものは、使用済みとなります。  
開封してしまったリユース食器は、回収ブースでデポジット金と交換して下さい。

計算式： リユース食器 使用数(申し込み数-未開封食器数)×150円+未開封食器数×20円  
和器 使用数(申し込み数-未開封食器数)×20円+未開封食器数×5円  
樹恩割り箸 使用数×5円

※開催中止の時：費用は発生しません。実行委員会で費用は負担します。

#### 3. 当日の来場者へ対しての表示について(こちらで用意します。当日お渡しします)

- ① 実行委員会で用意した食器を使う店舗  
(飲食代金に150円上乗せでの価格と  
わかりやすく区別するため)
- ② ご自身で使い捨てでない食器を用意するかたは  
(回収ブースに返しに来る方への対策)

マイ食器持参で  
150円引き

食器はこの店舗  
に返して下さい

#### 一問い合わせ・申し込み

食器希望の方は、Google フォームの回答に 4月27日(月) までをお願いします。

それ以降のキャンセル、数の変更は、費用が発生しますので、出店者にご負担願います。  
ご了承ください。



<p>どんぶり1種</p> <p>①直径14cm×深さ7cm 容量700ml <b>150円</b></p>		<p>長方形</p> <p>② 20.8×11.7×5.3cm 830ml <b>150円</b></p>	
<p>角皿</p> <p>③ 15cm×15cm <b>150円</b></p>		<p>丸皿18cm</p> <p>④ 直径18cm</p>	
<p>丸皿26cm</p> <p>⑤ 直径26cm <b>150円</b></p>		<p>カップ1</p> <p>⑥ 容量250ml 口径9cm 高さ7cm <b>150円</b></p>	
<p>カップ2</p> <p>⑦ 容量440ml 口径8.8cm 高さ11.7cm <b>150円</b></p>		<p>カップ3</p> <p>⑧ 容量380ml 口径89mm 高さ104mm <b>150円</b></p>	
<p>⑨ 樹恩割り箸</p> <p>日本の森林資源の保全につながる割り箸です。 <b>買取5円</b></p>		<p>⑩ 先割れスプーン</p> <p><b>10円</b></p>	
<p>⑪ 和器(丸皿)</p> <p>18cm×25cm <b>買取20円</b> 数に限りがあります</p>		<p>⑫和器(ふながた)</p> <p>長さ17.5cm 幅8.5cm 深さ1.5cm <b>買取20円</b></p>	

※リユース食器の概要(“カマン”より Megloo)

食器使用後は、そのまま返却する。レンタル団体が洗浄、滅菌、保管して繰り返し使用されます。

※和器とは、“NPO 法人 游風”が取り扱う国産材で作られた木の器です。日本の森林資源を使用することから林業の活性化にもつながり、使用后、炭化して新たな資源となるのでごみが発生しません。

申し込みは、google フォームにてご回答

<https://forms.gle/nN3HgUUqyrEN3VjU8>

